「独占禁止政策の新潮流」セミナー開催案内

～経済経営学研究科・法学研究科共催～

我々が活動している自由経済社会では、様々な企業が自由に財・サービスを提供する一方、消費者は自由に財・サービスを購入することが可能となっています。ただ、ある企業が自らの利益を獲得するために、市場を独占したり、あるいはカルテル行為を行うことにより、市場の競争を制限・阻害することがあります。

このため各国において独占禁止法が制定され、これに基づく独占禁止政策により自由・公正な競争の実現が図られています。また、近年、各国が自由貿易協定を締結する際、独占禁止政策に関する条項が含まれることが一般的となりつつあります。貿易制限措置を削減・撤廃しても、当該市場の競争が歪められているとすると、自由な競争が実現しない可能性があるからです。この面からも、独占禁止政策の重要性が一段と高まってきたといえます。

本セミナーでは、独占禁止政策に関する2人の専門家から、内外における独占禁止政策の具体例を提示頂くことにより、独占禁止政策の新しい潮流について論じて頂きます。

研究科・学部を問わず、教職員ならびに大学院生の皆様のご参加をお待ちしております。

◆開催日時: 2016年11月30日(水) 15時30分～17時30分

◆会場: 摂南大学経済学部会議室 (1号館7階)

◆プログラム:

15:30~15:40	開会挨拶 久保 広正 (本学経済経営学研究科 教授)
15:40~16:30	深町正徳 (公正取引委員会 国際担当上席審査専門官)
	リジン判決後の各国の再販売価格維持行為に対する規制の状況
16:30~17:20	村上礼子 (近畿大学経済学部 准教授)
	公益事業におけるバンドリング販売(セット販売)についての一考察
17:20~17:30	閉会挨拶 小山 昇 (本学法学研究科 教授)

注)各報告者の時間には質疑応答が含まれます。

【本件にかかる問い合わせ先・・・経済学部事務室:濱崎】